

北空知地域医療介護確保推進協議会 事業報告に係る説明資料

○運営会議

- ①協議会事業の進捗・評価と今後の方針・施策案・・・・・・・・・・別冊「資料3」

○Ⅰ部会「医療・介護情報共有支援部会」

(スライド番号)

- ①北空知地域医療介護連携支援センターホームページの更新・・・・・・・・・・3
②ICT活用情報共有ツール導入調査研究にかかる中間報告・・・・・・・・・・別冊「資料4」

○Ⅱ部会「退院調整・在宅生活支援部会」

- ①北空知地域入退院支援研修会の開催・・・・・・・・・・4～5
②認知症初期集中支援事業研修会の開催・・・・・・・・・・6～7
③北空知地域医療介護連携支援センター参加事業一覧・・・・・・・・・・17～19
④北海道国民健康保険団体連合会発行「北海道の国保」特集記事・・・・・・・・・・20～21

○Ⅲ部会「多職種連携・地域啓発部会」

- ①在宅医療・介護を考える北空知地域住民フォーラムin北竜・・・・・・・・・・8
②地域包括ケアに携わる多職種合同研修会の開催・・・・・・・・・・9～11
③北空知地域リハビリテーション活動支援事業の概要・・・・・・・・・・12～16

1

令和元年度 北空知地域医療介護確保推進協議会 各種研修事業等一覧

開催日・場所	事業名	内容
6月14日(金) 18:00～20:00 深川市立病院	多職種合同研修会 第1回ケア・カフェきた そらち『運動』 ・参加者88名	地域包括ケアに携わる関係者の交流研修会。今年度は、ケア・カフェ方式による研修会を年3回開催。第1回は「運動」をテーマに、市立病院作業療法士の永洞政幸さんが「病院のリハビリ、地域のリハビリ」と題し話題提供、市立病院看護師の坂本一樹さんがカフェ・マスターとなりグループワーク(情報・意見交換)を行いました。
7月22日(月) 18:15～19:45 深川市立病院	第1回北空知地域入退院 支援研修会 ・参加者86名	療養が必要な住民を支援する関係者の力量アップを図るための、入退院支援調整に係る病院・介護・福祉関係者の研修会。第1回は病院・看護師からの事例「ストマケアを通じて、本人・家族への支援を深める」をグループワークにより検討しました。
8月22日(木) 18:00～19:30 深川市立病院	第1回認知症初期集中支 援事業研修会 ・参加者21名	認知症ケアの向上を図るための、認知症初期集中支援事業に係る関係市町及び関係機関の専門職等による学習会。第1回は砂川市立病院認知症疾患医療センターの福田智子さんを講師に招き先進地の取組を学びました。
9月20日(金) 18:00～21:30 ラ・カンパニー ホテル深川	多職種合同研修会 第2回ケア・カフェきた そらち『お口の話』 ・参加者91名 ・交流会32名	第2回は「お口の話」をテーマに、北空知歯科医会副会長の中神宏司さんが「オーラルフレイル」と題し話題提供。沼田町地域包括支援センター介護支援専門員の碓 宏一さんがカフェ・マスターとなりグループワーク(情報・意見交換)を行いました。また、研修会終了後には「飲みニケーション交歓～深めよう多職種連携づくり～」と題した交流会も開催しました。
10月27日(日) 13:30～15:45 北竜町公民館	在宅医療・介護を考える 北空知地域住民フォー ラムin北竜 ・参加者106名	在宅医療と介護について地域住民に考えてもらう地域啓発事業。関係市町持ち回りで開催。今年度は北竜町で開催、北空知の取組紹介のほか、北翔大学教授の小田史郎さんが北竜町で2年間実施調査した「あたまの元気度テスト」の結果を「認知症を予防するための大切なこと」と題して講演、その後参加者で「支え合う地域づくり」について意見交換を行いました。
11月18日(月) 18:15～19:45 深川市立病院	第2回北空知地域入退院 支援研修会 ・参加者80名	第2回は地域・ケアマネジャーからの事例「5年後の生活を想像して、本人・家族の支援を考える」、いわゆる8050問題をグループワークにより検討しました。
1月30日(木) 18:00～20:30 ラ・カンパニー ホテル深川	多職種合同研修会 第3回ケア・カフェきた そらち『食事』 ・参加者83名	第3回は「食事」をテーマに、北空知栄養士会会長の岡本 恵さんが「食事と健康寿命」と題し話題提供。東ヶ丘病院看護師の足田 健さんがカフェ・マスターとなりグループワーク(情報・意見交換)を行いました。
2月20日(木) 18:00～19:30 深川市立病院	第2回認知症初期集中支 援事業研修会 ・参加者43名	第2回は深川市から初期集中支援チームが介入したその後の事例を4件紹介してもらい、認知症サポート医をはじめ、地域包括支援センターや介護サービス事業所などの支援関係者で事例共有検討を行いました。

2

社会資源のガイドのほか、研修会等の案内や各種事業の報告の掲載など、ホームページを23回更新しました。



「医療や介護が必要になっても住み慣れた自宅や地域で自分らしく暮らしたい。」
 ～その想いをかなえるために支援を行います～

北空知地域医療介護連携支援センターは、北空知1市4町（深川市、沼田町、妹背牛町、秩父別町、北竜町）にお住まいの皆様が、医療や介護が必要な状態になっても、できる限り住み慣れたご自宅や地域で安心して生活を継続できるように、地域医療及び介護サービスの統合的な提供体制の確保やその充実に向け様々なサポートを行います。

各町町の地域包括支援センターと連携し、北空知1市4町にお住まいの皆様が在宅医療や介護での負担軽減やご心配も受けやすくなりますので、お気軽にご相談ください。

- 妹背牛町 地域包括支援センター
- 秩父別町 地域包括支援センター
- 北竜町 地域包括支援センター
- 沼田町 地域包括支援センター
- 深川市 地域包括支援センター

お知らせ・ニュース

- 2020年 03月31日 火曜日 [認知症初期集中支援事業研修会の開催報告](#)
- 2020年 03月31日 火曜日 [「地域包括ケアに携わる多職種合同研修会」第3回ケア・カフェまたそらち「食事」の開催報告](#)
- 2020年 02月04日 火曜日 [「北海道の国産」で北空知の取組が特集で紹介されました](#)
- 2020年 02月04日 火曜日 [「各種事業報告」を公開しました](#)
- 2019年 12月26日 木曜日 [「地域包括ケアに携わる多職種合同研修会」第2回ケア・カフェまたそらち「食事」のご案内](#)
- 2019年 12月26日 木曜日 [第2回北空知地域入退院支援研修会の開催報告](#)
- 2019年 12月26日 木曜日 [在宅医療・介護を考える北空知地域住民フォーラムin北竜の開催報告](#)
- 2019年 12月26日 木曜日 [「地域包括ケアに携わる多職種合同研修会」第2回ケア・カフェまたそらち「お口の話し」開催報告](#)
- 2019年 10月01日 火曜日 [北空知地域の社会資源・インフォーマルサービス一覧を公開しました](#)

- 2019年 10月01日 火曜日 [第1回北空知地域入退院支援研修会開催報告](#)
- 2019年 10月01日 火曜日 [「地域包括ケアに携わる多職種合同研修会」第1回ケア・カフェまたそらち「運動」開催報告](#)
- 2019年 09月20日 金曜日 [在宅医療・介護を考える北空知地域住民フォーラムin北竜のご案内](#)
- 2019年 08月14日 水曜日 [協議会各種研修事業等の令和元年度の実施予定をお知らせします。](#)
- 2019年 08月14日 水曜日 [「地域包括ケアに携わる多職種合同研修会」第2回ケア・カフェまたそらち「お口の話し」のご案内](#)
- 2019年 07月30日 火曜日 [北空知地域医療介護連携推進協議会の開催状況を更新しました](#)
- 2019年 07月30日 火曜日 [北空知地域医療介護連携支援センタースタッフ一覧を更新しました](#)
- 2019年 07月30日 火曜日 [北空知地域医療介護連携推進協議会委員名簿を更新しました](#)
- 2019年 07月30日 火曜日 [運営会議委員名簿を更新しました](#)
- 2019年 07月30日 火曜日 [運営会議事務局担当者の名簿を更新しました](#)
- 2019年 07月30日 火曜日 [各専門部会構成員の名簿を更新しました](#)
- 2019年 07月30日 火曜日 [各専門部会の担当項目を見直しました](#)
- 2019年 07月02日 火曜日 [第1回北空知地域入退院支援研修会のご案内](#)
- 2019年 06月04日 火曜日 [「地域包括ケアに携わる多職種合同研修会」第1回ケア・カフェまたそらち「運動」のご案内](#)

○ 一覧を見る



センターについて



北空知地域医療介護連携推進協議会



各種事業報告

北空知地域医療介護連携支援センター

住所：〒074-0006 北海道深川市6条6番1号 深川市立病院4階 事務部地域連携室内

電話：0164-38-2200 (直通) ファクシミリ：0164-23-2712

Eメール：k_sora1c@city.fukagawa.jp

© 2016 Fukagawa Municipal Hospital. All rights reserved.

第1回北空知地域入退院支援研修会

- ・ 7月22日（月）18：15～19：45 ・ 深川市立病院 2階会議室
- ・ 参加者 86名（看護職40名、介護支援専門員21名、MSW・SW・相談員9名、リハビリ職3名、保健師6名、薬剤師1名、歯科医1名、介護福祉士1名、事務職3名）
- ・ 研修目的 医療関係者と地域支援関係者が連携して入退院支援を進めていく関係を築く
- ・ 研修目標 ①支援関係者が、本人や家族の思いに添った入退院支援ができるようになる
②医療関係者と地域支援関係者が、情報を共有し同じ目線で支援ができるようになる

事例検討の視点

- (1) 本人・家族に寄り添った支援をするためには、どのような情報・関わりが必要ですか。
 - ①入院時
 - ②病状説明時
 - ③自宅退院に向けた時
 - ④病状が大きく変化した時
- (2) このような方が退院した際に、どのような支援ができますか。退院後どのようなことが、予測されますか。ADLの変化、食事、清潔、健康、環境、緊急時の対応、家族の介護負担など

各職種の方々から様々な視点から考えを聞くことができとても勉強になった。



今年も会場いっぱいの参加者 GWは各テーブル5人～6人で 15グループで実施



とても楽しく意見交換できた。事例の積み重ねで支援が広がる。

この研修会で少しずつ病院の方と交流し 知り合いが増えてきてよいと思う。



目の前の問題に目が行きがちだが、本人・家族がどうなりたいか、何を大切にしたいと思っているか知り、支援できるようにしたい。



話し合った事を模造紙に記録しグループで共有、最後に全体に発表

第2回北空知地域入退院支援研修会

- ・ 11月18日(日) 18:15~19:45 ・ 深川市立病院 2階会議室
- ・ 参加者 80名(看護職30名、介護支援専門員27名、MSW・SW・相談員6名、リハビリ職3名、保健師9名、薬剤師1名、歯科医1名、事務職2名)
- ・ 研修目的 医療関係者と地域支援関係者が連携して入退院支援を進めていく関係を築く
- ・ 研修目標 ①支援関係者が、本人や家族の思いに添った入退院支援ができるようになる
②医療関係者と地域支援関係者が、情報を共有し同じ目線で支援ができるようになる

今回は、いわゆる8050問題を考える事例として紹介いただき、5年後を想像し支援を考えました

事例紹介

2

氏名：Aさん 年齢：76歳 性別：女性
 介護度：要支援2 寝たきり度：J2 認知症度：I
 家族構成：息子と二人暮らし
 息子(50歳)
 猫 7匹
 夫とは離婚。もう亡くなっている。
 既往：平成30年2月 脳梗塞(麻痺ほとんどなし)
 令和元年6月 不整脈
 通院状況：脳神経外科に月1回定期通院
 5月末に猫に足を踏まれ受診

参加申込者は96名でしたが、悪天候?急用?とつになく欠席が多く80名の参加となりました(欠席者17名、当日受付1名)



検討結果を踏まえて、新たなサービス等ができればいいと思う



毎回有意義に意見交換ができ、発想も幅も広がります



息子が一人になった時の見守り必要、ひきこもりカフェ、ねこカフェができないか

アンケートから(看護職)

- ・ 地域で人が生活できるように細やかな情報共有をしたい。
- ・ 他職の人たちと連携し、知恵を出し合い対象者がよい方向へ向かうよう、考えていけると思った。
- ・ 目の前で起きている問題にとらわれがちだが、未来を想像し、いろいろな可能性を話し合うことで、視野を広げることができると思った。
- ・ ネガティブな予測だけでなく、ポジティブな面での介入を考える事が大事である。
- ・ 色々な方法で支援する事ができると思いました。
- ・ マイナスだけでなくプラス、明るく考える視点を持つことができました。 5

第1回 認知症初期集中支援事業研修会

8月22日(木) 18:00~19:40 深川市立病院

- ・ 目的 認知症初期集中支援事業に係る関係市町及び関係機関の専門職が、先進地の取組みに学ぶことで、日々の活動の振り返りをし、今後の課題を共有する機会とする。
- ・ 内容 (1) 講演「認知症初期集中支援チームの活動について」
 ・ 講師 砂川市立病院認知症疾患医療センター看護部長 福田 智子
 (2) 意見交換
- ・ 参加者 21名(部会・小部会委員等、地域包括支援センター、訪問看護ステーション、市立病院、介護サービス事業所など)



集中支援事業のメリットは、専門医が加わることによる医療との連携が図りやすくなること、また、今後目指すべきケアは、事後的な対応から「危機」の発生を防ぐ「早期・事前的な対応」であると指摘

認知症初期集中支援事業の意義

- ◆ 地域包括支援センターも同じ機能を有しているが、このチームは専門医が加わることで専門性が増し、医療との連携が図りやすくなる。(厚労省,2018)
- ◆ これまでのケアは、認知症の人がBPSD等により「危機」が発生してからの「事後的な対応」が主眼となっていた。これに対して、今後、目指すべきケアは、新たに「早期支援機能」と「危機回避支援機能」を整備し「危機」の発生を防ぐ「早期・事前的な対応」に基本を置くものである。そこで期待されるのが「認知症初期集中支援チーム」である。(粟田,2013)
- ◆ 中・長期的な視点=モニタリングが大事 (福田)



砂川市認知症初期集中支援チーム

(平成26年9月より始動)



平成25年より砂川市においては、条例を定めて民生委員・町内会との情報交換を行い、地域包括職員と高齢者福祉課職員が高齢者のお宅を一軒一軒訪問して見守りの必要性をアセスメントし見守りにつなげていく事業。

初期集中支援チーム員会議



元かかりつけ医に往診していただき、まずは血圧のコントロールを!
 認知症としてはアルツハイマー型認知症と思われる、その治療をしていただく!
 ・次に介護サービス導入を!

認知症の方を地域で支える図



第2回 認知症初期集中支援事業研修会 2月20日(木)18:00~19:40 深川市立病院

- ・目的 認知症初期集中支援事業等に係る北空知の認知症サポート医をはじめ、地域包括支援センターや介護サービス事業所などの支援関係者で、認知症ケアの事例を共有検討することで、北空知地域の認知症ケアの向上を図る。
- ・内容 (1)事例紹介「認知症初期集中支援チームの介入とその後～4つの事例から」
 - ・提供者 深川市地域包括支援センター保健師 鎌塚聡子さん
- (2)事例検討(情報・意見交換)
 - ・参加者 43名(部会・小部会委員等、認知症サポート医、地域包括支援センター、訪問看護ステーション、市立病院、介護サービス事業所など)



認知症初期集中支援チームの支援の成果

チーム員が一致した見解で、本人と・家族への説明ができる
チーム員でケア方針の方向性を共有できる

- ◆サポート医の助言の力
家族への正しい知識・対応について指導
家族の介護負担、不安を解消
- ◆早期対応
診断・治療の早期開始
不安の軽減
介護負担の軽減
介護サービスの利用

- ・事例提供者の鎌塚さんから、昨年度、深川市で初期集中支援チームを発動した4つの事例について、その後の状況も含め紹介していただきました。
- ・鎌塚さんは、初期集中支援チームの成果として、チーム員が一致した見解で本人・家族に説明し、ケア方針を共有できたことを挙げ、特にサポート医の助言が心強かったと感じており、診察に同席することで医師から患者さんへの言葉がけを後になっても伝えられ、その後の受診や介護サービス勧奨に役立てられたと振り返りました。
- ・事例検討では、村澤さんの進行で、それぞれ事例に関わった事業所から補足説明等があり、関連事例の紹介やサポート医からの助言もいただきながら情報・意見交換を行いました。
- ・最後に河野部会長から、他の地域にも似た事例があると思う。深川市で初期集中支援チームを動かしていったのは、チーム員とサポート医の力である。地域包括支援センターで対応可能であっても、チームでの対応の良いところを知っていただき、是非、事例を積み重ねてほしい。他町でも事例を作っていくことが必要。今後、認知症は増えていくので、こうした研修を通じて高めていきたいと閉会あいさつ。

- ・アンケートでは、76%の方が大いに参考になったと回答。
- ・また、参加者から「チームの力を改めて知ることができた」「あきらめず寄り添うことが重要」「介入には信頼関係を作ることが大切」「家族支援が大事、孤立させないことが大切」「家族が介護力をあげることで、本人も良い影響が及ぶ」「子どもでも見る力を持っている」「子どものころからの認知症への理解も大事」「サポート医の話が聞けて良かった」「1市4町で事例を共有することが大切」などの感想等が寄せられました。



在宅医療・介護を考える北空知地域住民フォーラム in 北竜の開催報告 ～ いずれはみんなに訪れる人生の最期 どう迎えたいですか？ どう送りたいですか？ ～

- ・日時 10月27日(日)13:30~15:45
- ・場所 北竜町 北竜町公民館 2階大ホール
- ・参加者 106名(北竜町72名、深川市17名、妹背牛町9名、秩父別町3名、沼田町2名、その他3名、うち一般66名、支援関係者40名)



司会進行は北竜町の南さん



訪問調査で北竜の方と沢山知り合いになったと話す小田教授

北空知の取組を紹介する三ツ井さん

訪問看護の事例を紹介する立花さん

○参加者アンケートから

- ・地域の状況や今後についてよく分かった。
- ・本人・家族の意向を尊重して最期をどう過ごすか考えることが出来ました。
- ・事例の話で涙が出ました。
- ・多くの市民への周知が課題ではないか。
- ・今後このような会合をもっと多く開催しPRを進め一人でも多くの方が救済される事を希望します。
- ・運動や社会活動への参加が認知症予防
- ・人の事ではなく我身に起こりえる事だと今から考えなくてはいけない!!とつくづく考えさせられました。
- ・今後も継続して欲しい。また参加したいと思います。ありがとうございました。



「支え合う地域づくり」をテーマに意見交換を進行する大井さん

早期発見は早期絶望ではない。 対処が早いほど「できる」ことを多く残せる

- ・一次予防: 認知症を発症しないための予防
- ・二次予防: 早期発見、早期治療
- ・三次予防: 病気の進行防止
 - ・その人らしさを尊重するケア
 - ・ご家族の理解と適切なかわり
 - ・生活不安の軽減

MCIの方をしっかりとキャッチする

地域包括ケアに携わる多職種合同研修会 ～「顔の見える関係」から「多職種協働」、そして「チーム北空知」へ～ 「第1回 ケア・カフェきたそらち～運動～」開催報告

◎令和元年6月14日(金)18:00～20:00
◎深川市立病院 2階 大会議室
◎参加者 88名

看護職26名、介護支援専門員15名リハビリ職14名、MSW・SW・相談員6名、保健師4名、ヘルパー4名、事務職3名、薬剤師2名、管理栄養士2名、歯科衛生士2名、介護職2名、医師1名、歯科医師1名、その他6名



会場いっぱいの17テーブルを用意
第1回のMVS賞は2名の方に贈呈

「病院のリハビリ・地域の
リハビリ」について話題提
供する永洞さん

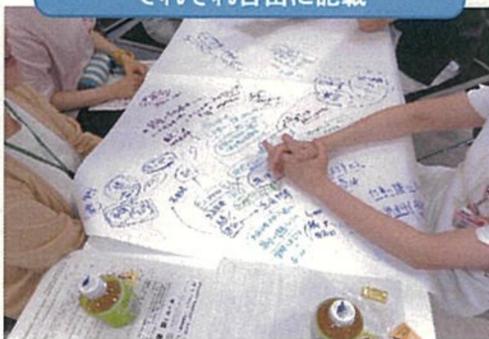
全体共有インタビュー

左奥は司会の桑原さん、マイクはケ
ア・カフェマスターの坂本さん、右
隣はサブ・マスターの礪さん
緊張の中初めてのケア・カフェを仕
切りました



ピースサインで和気あいあい
「運動」をテーマに意見交換

構造紙には話し合った内容が
カラフルに、図も入るなど
それぞれ自由に記載



GWが始まると、BGMが全く
聞こえないくらい、賑やかに
楽しく会話が弾みました

参加者持参の「うまか棒」
がいっぱい！次回も歓迎です

地域包括ケアに携わる多職種合同研修会 ～「顔の見える関係」から「多職種協働」、そして「チーム北空知」へ～ 「第2回 ケア・カフェきたそらち～お口の話～」開催報告

・日時 9月20日(金)18:00～21:30 研修会18:00～ 交流会20:10～ ・場所 ラ・カンパーニュホテル深川

・参加者91名(看護職16名、介護支援専門員20名、保健師9名、ヘルパー9名、リハビリ職6名、管理栄養士5名、MSW・SW・相談員5名、事務職4名、薬剤師4名、歯科衛生士4名、歯科医師3名、医師2名、その他4名)



今回も楽しく賑やかなグループワークになりました

オーラルフレイルに対する対応

原因	対応
口腔の器質的障害	歯科受診 口腔ケア 唾液腺マッサージ
嚥下関連筋の筋力低下	健口体操 ハタカラ体操 喉頭挙上訓練
知覚・神経の鈍麻	口腔ケア 知覚の賦活化

今回は北空知歯科医会副会
長の中神さんが「オーラルフ
レイル」について話題提供



地域保健事業・介護
予防による対応

飲みニケーション交歓(交流会)には32名
が参加、コーディネーターの高橋さん(左)
の楽しい進行で、交流が深まりました。



ケア・カフェは、カフェマスターの礪さん
(左)と、サブマスターの足田さん(右)
のコンビ、絶妙な進行でした



第2回研修会は、北空知介護支援専
門員連絡協議会の第57回研修会を
兼ね、「お口の話」をテーマに開催



MVS賞として大谷内賞(ケア・カフェボー
ルペンと中神賞(口腔ケアグッズ)が贈呈

地域包括ケアに携わる多職種合同研修会
 ～「顔の見える関係」から「多職種協働」、そして「チーム北空知」へ～
 「第3回 ケア・カフェきたそらち～食事～」開催報告

・日時 1月30日(木)18:00～20:00 ・参加者83名(看護職18名、介護支援専門員11名、保健師9名、ヘルパー6名、
 ・場所 ラ・カンパニーホテル深川 リハビリ職7名、管理栄養士・栄養士9名、MSW・SW・相談員4名、
 事務職2名、薬剤師2名、歯科衛生士2名、歯科医師2名、
 医師2名、その他9名)



ケア・カフェとは、と説明する疋田カフェマスター(右)、永洞サブマスター(左)、桑原総合司会(中央)



開会挨拶する、医療介護連携支援センター長の新居さん
 ケア・カフェ初参加です

健康寿命を延伸させるためにできること

- ▶運動
- ▶食生活
- ▶禁煙

スマート・ライフ・プロジェクト

「健康寿命をのびそう！」をスローガンに、人生の最後まで元気で健康で楽しく毎日が送れることを目標とした国民運動で、「運動」「食生活」「禁煙」の3分野を中心に、具体的なアクションの呼びかけを、プロジェクトに参加する企業・団体・自治体と協力・連携をしながら推進する、厚生労働省によるプロジェクト。



今回は北空知栄養士会会長の岡本さんが「食事と健康寿命」について話題提供

コーヒー、菓子コーナー
 差し入れ大歓迎

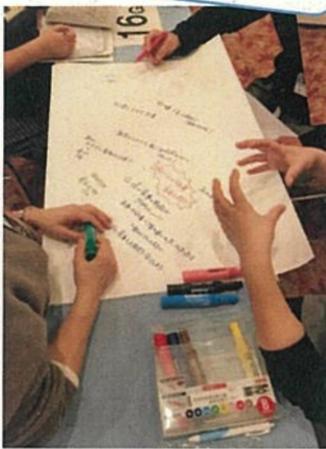


Chart1終了の合図に挙手する参加者
 ちよっと話足りないよ～

アンケートから

- ・カフェがなければ話す機会もなかったと思われる人と話
 ができて楽しかった。
- ・自分が思いもしない話をいっぱい聞けました。
- ・食事・塩分の知識を深めることができた。
- ・お互いの知識を皆に(自分に)活かせることが良かった。
- ・話が色々展開し、あっという間に時間が過ぎます。
- ・深川の医療や暮らし方を応援する方がたくさんおられる
 のを心強く感じます。



～参加者の声から～

- ・初めてで緊張しましたが、楽しかったです。
- ・また参加したいです。明日から頑張ります。
- ・とても楽しく、勉強になりました。
- ・いつも企画・運営ありがとうございます。

北空知地域リハビリテーション活動支援事業

個別訪問



関係スタッフと居宅へ訪問し、
 自立支援に向け助言。

通所訪問



生活動作の再獲得、
 集団活動への助言。

地域ケア会議



事例検討、地域課題の発掘
 に向けリハ視点で参画。

担当者会議



心身・活動・参加に働きかける
 ケアマネジメントを協議。

地域予防事業



サロン・老人クラブ等にて
 介護予防への意識を高める。

スタッフ研修会



看護・介護職員等へ
 リハ視点での介入方法を紹介。

○地域リハビリテーション活動支援事業 実施件数

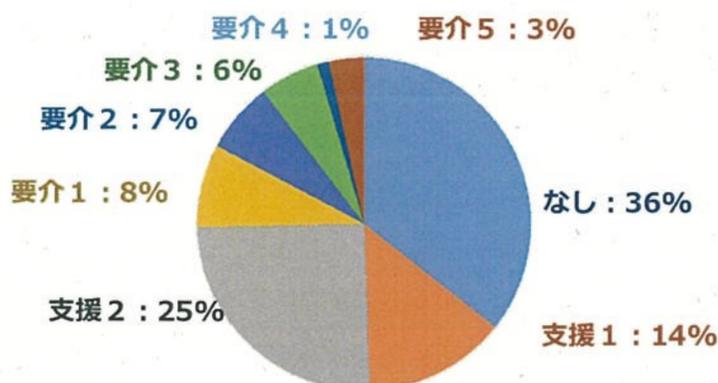
年 度	深川市	妹背牛町	秩父別町	北竜町	沼田町	合計
平成29年度	104	43	73	44	43	307
平成30年度	95	44	70	62	35	306
令和1年度	127 (+32)	55 (+11)	106 (+36)	60 (-2)	35 (0)	383 (+77)

市町名	年 度	個別訪問	通所訪問	地域ケア会議	担当者会議等	サロン・予防教室 老人クラブ等	研 修	その他	合計
深川市	H29年度	44	4	10	11	24	7	4	104
	H30年度	36	6	13	10	21	4	5	95
	R1年度	39	12	12	39	18	4	3	127
妹背牛町	H29年度	15	7	11	5	3	0	2	43
	H30年度	13	6	12	8	4	0	1	44
	R1年度	15	8	11	19	2	0	0	55
秩父別町	H29年度	34	0	2	29	1	2	5	73
	H30年度	29	0	11	25	1	1	3	70
	R1年度	46	0	10	46	4	0	0	106
北竜町	H29年度	18	7	1	15	2	0	1	44
	H30年度	21	14	1	21	2	2	1	62
	R1年度	11	17	10	17	0	5	0	60
沼田町	H29年度	11	7	3	0	8	7	7	43
	H30年度	17	1	1	3	9	1	3	35
	R1年度	10	0	0	10	14	1	0	35
合計	H29年度	122	25	27	60	38	16	19	307
	H30年度	116	27	38	67	37	8	13	306
	R1年度	121	37	43	131	38	10	3	383

13

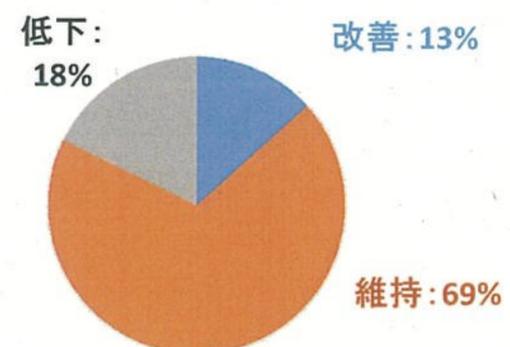
○地域リハビリテーション活動支援事業の検証

個別訪問：介護度認定別 対象者 (N87)



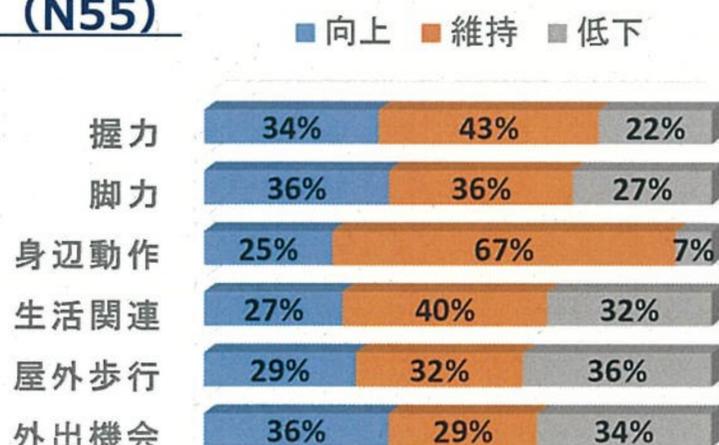
2次予防(虚弱高齢者)支援が75%、
3次予防(要介護者)は25%。

再評価時の介護度変化 (N45)



要介護者は、不活発や低栄養などから
フレイル、サルコペニア、転倒のリスクが高い。

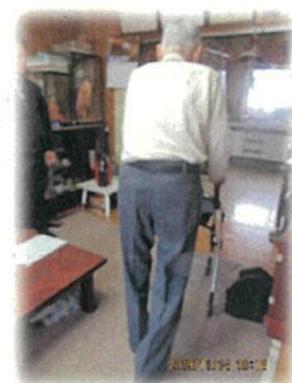
個別訪問：心身機能と生活動作の再評価結果 (N55)



自主ケア、各支援サービスを活用し
7割の方で筋力は維持・向上。

身辺動作も9割で維持・改善。

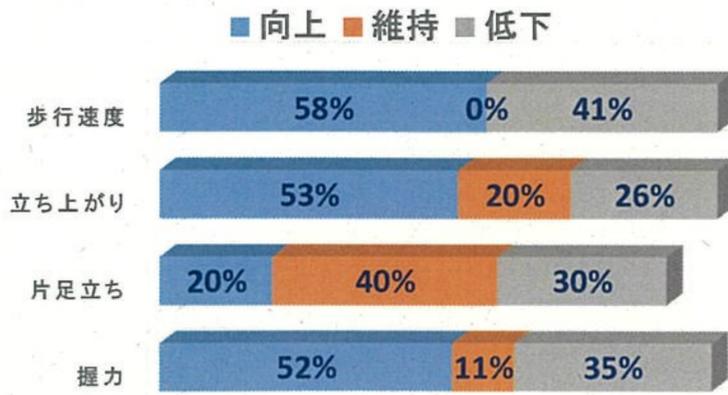
家事などの支援必要者が3割。
屋外での転倒リスク増加者は3割。
外出機会の減少者は3割。



14

北竜町総合事業 通所A型(コスモスクラブ)

平均年齢87歳 比較対象者17名 半年後の測定値比較



DS特性と体力測定結果から傾向を分析し、目的の意識を持った内容を協議します。

深川市一般介護予防事業(開西町お結びサロン)

平均年齢75歳 15名 1年後の5段階評価平均値比較

	平成30年 10月	令和1年 10月
歩行速度	2.4	3.4
立ち上がり	3.8	3.8
片足立ち	3.4	3.5
握力(右)	3.6	4.0



体力測定結果や、他地区のサロンの取り組みを紹介し、予防への意識を高めます。

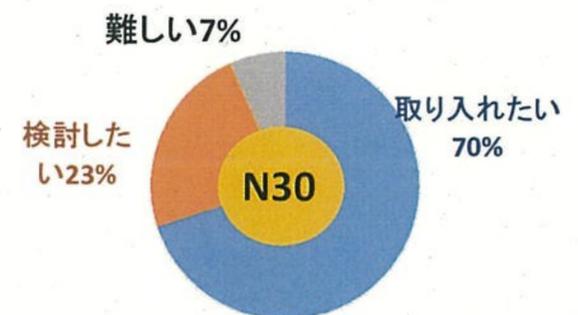
15

スタッフ研修会の取り組み状況

深川市内DS事業所合同研修会

- 9月「腰椎弯曲に対する予防・改善への体操について」17名
- 11月「浮腫みの原因と集団で取り組める予防について」22名
- 1月「パーキンソン病への支援とストレッチ・体操について」30名

DSで研修内容を取り入れたい?



参加者の感想

疾患に応じた運動方法が解かった。
今やっている事が間違っていないことが確認できた。
利用者に取り入れてみたい。実技研修は大変勉強になった。
運動が生活動作を保つことに有効なことがわかった。
現在の体操を改善し、取り入れられることを考えていきたい。



北竜町社協DS

「介護予防の為の運動」



北竜町永楽園

「自立度を高める方法」



沼田町和風園

「足部痛者の移動について」

16

令和元年度 北空知地域医療介護確保推進協議会 各種会議・行事一覧

	年月日	会議・行事等	場所
1	平成31年04月11日	深川市地域ケア会議	深川市
2	平成31年04月16日	妹背牛町地域ケア会議	妹背牛町
3	平成31年04月16日	正副座長・部会長等会議	市立病院
4	平成31年04月18日	秩父別町地域ケア会議	秩父別町
5	平成31年04月22日	北竜町地域ケア会議	北竜町
6	平成31年04月24日	Ⅲ部会:多職種連携・地域啓発部会第1回会議	市立病院
7	平成31年04月24日	Ⅲ部会:多職種合同研修企画小部会第1回会議	市立病院
8	平成31年04月24日	Ⅲ部会:地域啓発事業企画小部会第1回会議	市立病院
9	平成31年04月25日	深川市地域ケア会議	深川市
10	令和元年5月13日	Ⅲ部会:多職種合同研修企画小部会第2回会議	市立病院
11	令和元年5月16日	深川市地域ケア会議	深川市
12	令和元年5月17日	第1回運営会議	市立病院
13	令和元年5月21日	妹背牛町地域ケア会議	妹背牛町
14	令和元年5月22日	北空知介護支援専門員連絡協議会総会・研修会	深川市
15	令和元年5月23日	秩父別町地域ケア会議	秩父別町
16	令和元年5月27日	北竜町地域ケア会議	北竜町
17	令和元年5月27日	市立旭川病院地域医療連携のつどい	旭川市
18	令和元年5月29日	深川市認知症ケア研究会総会・研修会	深川市
19	令和元年5月30日	Ⅱ部会:退院調整・在宅生活支援部会第1回会議	市立病院
20	令和元年5月30日	Ⅱ部会:入退院支援企画小部会第1回会議	市立病院
21	令和元年5月30日	Ⅱ部会:在宅生活支援検討小部会	市立病院
22	令和元年5月30日	深川市地域ケア会議	深川市
23	令和元年5月30日	北海道自治体病院協議会連携部会 総会・研修会	札幌市
24	令和元年6月10日	Ⅲ部会:第1回多職種合同研修担当スタッフ最終打ち合わせ会	市立病院
25	令和元年6月11日	Ⅱ部会:入退院支援企画小部会第2回会議	市立病院
26	令和元年6月14日	地域包括ケアに携わる多職種合同研修会「第1回ケア・カフェきたそらち」	市立病院
27	令和元年6月17日	Ⅰ部会:医療・介護情報共有支援部会第1回会議	市立病院
28	令和元年6月18日	妹背牛町地域ケア会議	妹背牛町
29	令和元年6月20日	秩父別町地域ケア会議	秩父別町
30	令和元年6月21日	Ⅲ部会:地域啓発事業企画小部会第2回会議・地域リハビリテーション活動支援事業調整会議	市立病院
31	令和元年6月24日	北空知地域医療介護確保推進協議会	市立病院
32	令和元年6月24日	北竜町地域ケア会議	北竜町
33	令和1年06月26日	Ⅱ部会:入退院支援企画小部会第3回会議	市立病院
34	令和元年6月27日	深川市地域ケア会議	深川市
35	令和1年07月08日	Ⅲ部会:第2回多職種合同研修担当スタッフ打合せ会	市立病院
36	令和1年07月09日	Ⅱ部会:第1回入退院支援研修会企画進行担当者打合せ会	市立病院
37	令和1年07月11日	深川市地域ケア会議	深川市
38	令和1年07月16日	妹背牛町地域ケア会議	妹背牛町
39	令和1年07月16日	Ⅱ部会:入退院支援企画小部会第4回会議	市立病院
40	令和1年07月18日	秩父別町地域ケア会議	秩父別町
41	令和1年07月22日	第1回北空知地域入退院支援研修会	市立病院
42	令和1年07月25日	深川市地域ケア会議	深川市
43	令和元年7月29日	北竜町地域ケア会議	北竜町
44	令和元年7月29日	Ⅲ部会:多職種合同研修企画小部会第3回会議	市立病院
45	令和1年08月06日	Ⅱ部会:入退院支援企画小部会第5回会議	市立病院

令和元年度 北空知地域医療介護確保推進協議会 各種会議・行事一覧

46	令和1年08月19日	Ⅲ部会:地域啓発事業企画小部会第3回会議	深川市
47	令和1年08月20日	妹背牛町地域ケア会議	妹背牛町
48	令和1年08月22日	深川市地域ケア会議	深川市
49	令和1年08月22日	秩父別町地域ケア会議	秩父別町
50	令和1年08月22日	第1回認知症初期集中支援事業研修会	市立病院
51	令和1年08月28日	第2回運営会議	深川市
52	令和1年09月01日	ちっぷ介護フェア	秩父別町
53	令和1年09月02日	北竜町地域ケア会議	北竜町
54	令和1年09月03日	Ⅱ部会:第2回入退院支援研修会企画進行担当者打合せ会	市立病院
55	令和1年09月04日	北空知多職種連携セミナー	深川市
56	令和1年09月07日	入院前から始める入退院支援の取組みと人材育成	札幌市
57	令和1年09月12日	深川市地域ケア会議	深川市
58	令和1年09月12日	Ⅲ部会:第2回多職種合同研修担当スタッフ最終打ち合わせ会	市立病院
59	令和1年09月12日	滝川市立病院在宅医療カンファレンス	滝川市
60	令和1年09月17日	妹背牛町地域ケア会議	妹背牛町
61	令和1年09月19日	深川市地域ケア会議	深川市
62	令和元年9月20日	地域包括ケアに携わる多職種合同研修会「第2回ケア・カフェきたそらち」	深川市
63	令和1年09月24日	Ⅱ部会:入退院支援企画小部会第6回会議	市立病院
64	令和1年09月26日	深川市地域ケア会議	深川市
65	令和1年09月26日	深川市成年後見地域連携ネットワーク会議	深川市
66	令和1年09月27日	北空知地域自殺対策連絡会議	深川市
67	令和1年09月30日	北竜町地域ケア会議	北竜町
68	令和1年10月01日	I部会:ICT活用情報共有ツール導入調査研究会	市立病院
69	令和1年10月04日	第3回運営会議	深川市
70	令和1年10月12日	在宅・介護保険施設等で働く看護職の看護実践報告・交流会	札幌市
71	令和1年10月16日	北空知地域住民フォーラム開催地打合せ会	北竜町
72	令和1年10月17日	秩父別町地域ケア会議	秩父別町
73	令和1年10月19日	妹背牛町地域ケア会議	妹背牛町
74	令和1年10月21日	北竜町地域ケア会議	北竜町
75	令和1年10月24日	地域医療・介護担当課長等会議	沼田町
76	令和1年10月24日	深川市地域ケア会議	深川市
77	令和1年10月27日	在宅医療・介護を考える北空知地域住民フォーラムin北竜	北竜町
78	令和1年10月28日	旭川厚生病院地域医療連携の集い	旭川市
79	令和1年11月06日	Ⅱ部会:第2回入退院支援研修会企画進行担当者打合せ会	市立病院
80	令和1年11月07日	がん診療連携講演会(市立旭川病院)	市立病院
81	令和1年11月12日	Ⅱ部会:入退院支援企画小部会第6回会議	市立病院
82	令和1年11月17日	わかち愛劇団第7回公演「子どもでもわかる介護劇」	妹背牛町
83	令和1年11月18日	第2回北空知地域入退院支援研修会	市立病院
84	令和1年11月20日	Ⅲ部会:第3回多職種合同研修担当スタッフ打合せ会	市立病院
85	令和1年11月21日	正副専門部会長・事務局会議	秩父別町
86	令和1年11月21日	深川地区被害者支援連絡協議会	深川市
87	令和1年12月03日	Ⅱ部会:入退院支援企画小部会第7回会議	市立病院
88	令和1年12月03日	Ⅱ部会:入退院支援企画小部会第8回会議	市立病院
89	令和1年12月04日	深川地域訪問看護ステーション運営委員会	深川市
90	令和1年12月05日	Ⅲ部会:多職種合同研修企画小部会第4回会議	市立病院
91	令和1年12月06日	I部会:医療・介護情報共有支援部会第2回会議	市立病院

令和元年度 北空知地域医療介護確保推進協議会 各種会議・行事一覧

92	令和1年12月09日	Ⅱ部会:在宅生活支援検討小部会第2回会議	市立病院
93	令和1年12月12日	Ⅲ部会:地域啓発事業企画小部会第4回会議	市立病院
94	令和1年12月17日	妹背牛町地域ケア会議	妹背牛町
95	令和1年12月18日	深川市SOSネットワーク連絡会議	深川市
96	令和1年12月18日	深川市高齢者虐待防止ネットワーク会議	深川市
97	令和1年12月19日	深川市地域ケア会議	深川市
98	令和1年12月19日	秩父別町地域ケア会議	秩父別町
99	令和1年12月20日	深川市自殺対策推進連絡会議	深川市
100	令和1年12月21日	旭川医療センター新外来管理診療棟内覧会・地域医療連携の集い	旭川市
101	令和1年12月23日	北竜町地域ケア会議	北竜町
102	令和1年12月25日	正副専門部会長・事務局会議	秩父別町
103	令和2年01月15日	Ⅱ部会:在宅生活支援検討小部会第3回会議	市立病院
104	令和2年01月16日	秩父別町地域ケア会議	秩父別町
105	令和2年01月21日	妹背牛町地域ケア会議	妹背牛町
106	令和2年01月23日	地域医療・介護担当課長会議	深川市
107	令和2年01月23日	深川市地域ケア会議	深川市
108	令和2年01月24日	Ⅲ部会:第3回多職種合同研修担当スタッフ最終打ち合わせ会	市立病院
109	令和2年01月30日	地域包括ケアに携わる多職種合同研修会「第3回ケア・カフェきたそらち」	深川市
110	令和2年01月31日	深川市成年後見地域連携ネットワーク会議	深川市
111	令和2年02月06日	深川市地域ケア会議	深川市
112	令和2年02月07日	北空知介護支援専門員連絡協議会スキルアップ研修会	深川市
113	令和2年02月06日	I部会:医療・介護情報共有支援部会第2回会議	市立病院
114	令和2年02月10日	旭川赤十字病院医療連携のつどい	旭川市
115	令和2年02月13日	深川市介護者と共に歩む会研修会	深川市
116	令和2年02月13日	滝川市立病院在宅医療カンファレンス	滝川市
117	令和2年02月14日	北海道自治体病院協議会連携部会 地域連携システム等推進会議	札幌市
118	令和2年02月17日	北竜町地域ケア会議	北竜町
119	令和2年02月17日	Ⅲ部会:多職種連携・地域啓発部会第2回会議	市立病院
120	令和2年02月18日	妹背牛町地域ケア会議	妹背牛町
121	令和2年02月20日	第2回認知症初期集中支援事業研修会	市立病院
122	令和2年02月20日	深川市地域ケア会議	深川市
123	令和2年02月20日	秩父別町地域ケア会議	秩父別町
26	令和2年02月25日	Ⅲ部会:地域リハビリテーション活動支援事業調整会議第2回会議	市立病院
124	令和2年02月26日	第4回運営会議	市立病院
125	令和2年02月28日	北空知介護支援専門員連絡協議会研修会 ⇒ 中止	深川市
126	令和2年02月29日	地域包括ケアシステム構築に向けた多職種合同研修 ⇒ 中止	札幌市
127	令和2年03月02日	Ⅱ部会:退院調整・在宅生活支援部会第2回会議 ⇒ 中止	市立病院
128	令和2年03月05日	深川市地域ケア会議 ⇒ 中止	深川市
129	令和2年03月17日	妹背牛町地域ケア会議 ⇒ 中止	妹背牛町
130	令和2年03月19日	深川市地域ケア会議 ⇒ 中止	深川市
131	令和2年03月19日	秩父別町地域ケア会議 ⇒ 中止	秩父別町
132	令和2年03月23日	北竜町地域ケア会議 ⇒ 中止	北竜町

※このほか、北空知地域医療介護連携支援センターでは、旭川市や砂川市・滝川市の病院との連携を図るため、病院主催の研修会や連携のつどいなどに参加しています。

医療・介護確保へ1市4町連携

住み慣れたまちで安心な暮らし

てよかったとの感想を話してくれたこと、末期がんの一人暮らしの男性が、病院外来、訪問看護、ケアマネジャーなどの連携を得て、できる限り自宅での生活を送った後、緩和ケア病棟で亡くなり、「家でいい時間を過ごすことができた」と感謝された事例などを語った。

ほかに、北竜町で認知症の調査をしている大学教授が認知症予防について講演。参加した一般住民からはアンケートなどで、「本人・家族の意向を尊重して最期をどう過ごすか考えることができた」、「家族としての関わり方が大事で、穏やかに人生を送ることの支えになれることを考える機会になった」、「運動や社会活動



認知症の事例検討会に多くの専門職らが集まった

への参加が認知症予防につながるようになったなどの感想が寄せられた。三ツ井事務局長は「近所に住んでいても終末期にある人たちの家の中まではわからない。こういった事例を聞くことで住民は心を揺さぶられ、生と死について考えることができたと思う」と話す。

行政と関係団体が協力し協議会設立

同協議会が発足したのは平成28年。介護保険の地域支援事業として在宅医療・介護連携推進事業が国の方針とされ、それまで広域的な問題を検討していた北空知圏振興協議会の民生部会で2年をかけて調査研究・検討を続けた。「その結果、各市町が単独で地域包括ケアシステムを構築していくことは難しく、二次医



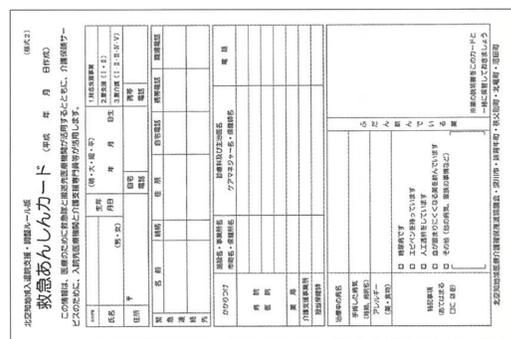
連携について語る三ツ井隆博事務局長

療圏を構成する1市4町が共同して持続可能な地域医療・介護の提供体制を確保すべきである」との結論に達したのですと、当時は深川市職員で議論の場の座長を務めた三ツ井事務局長が振り返る。

そこで、1市4町は同年3月、「北空知における地域医療・介護の提供体制の確保と連携に関する協定」を



▶住民への広報用に作成したパンフレット



▶救急隊と搬送先医療機関などが活用する「救急あんしんカード」

深

川市と妹背牛町、秩父別町、北竜町、沼田町の1市4町は、北空知地域における医療・介護サービスの総合的な提供体制の確保と連携を推進するため、「北空知地域医療介護確保推進協議会」(会長・山下貴史深川市長)を組織。行政と関係機関・団体が協力して、広域連携に関するさまざまな取り組みを進めている。住み慣れたまちで、医療や介護が必要になっても自分らしく安心して暮らすため、地域包括ケアシステム構築を目指し、在宅医療・介護、認知症などの対策に取り組む北空知地域を取材した。

地域でフォーラム 人生の最期考える

秋も深まった令和元年10月27日、同協議会主催の「在宅医療・介護を考える北空知地域住民フォーラム」が北竜町が同町公民館で開かれた。参加したのは、一般住民と支援する側の関係者合わせて100人余り。「いずれはみんなに訪れる人生の最期をどう迎えたいか? どう送りたいか?」をテーマに事例紹介や講演、意見交換などが行われた。

この住民フォーラムは、地域住民に在宅医療と介護を考えてもらうため、平成29年から、協議会を構成す

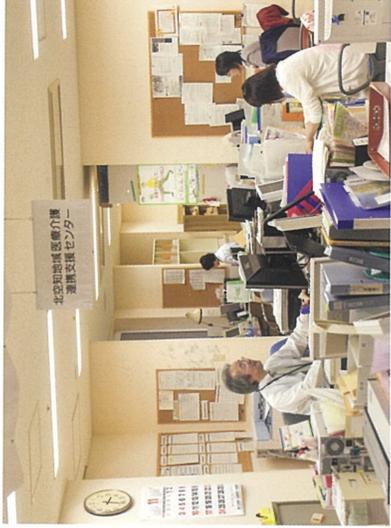
る1市4町の持ち回りで毎年開かれているもの。今回は、同協議会の事務局機能を持つ北空知地域医療介護連携支援センターの三ツ井隆博事務局長が、「人口推計や高齢者の状況を分析すると、この地域は道内21の二次医療圏の中で人口減少と少子高齢化がもつとも進んでいる地域なのです」と現状を説明したあと、深川市立病院の訪問看護師が地域での事例を紹介。

心不全で入退院を繰り返していた夫について、医師からは在宅生活は難しいと言われたが、妻が訪問看護などのサービスを活用しながら最期まで介護し、家でゆつくり過ごせ

締結。関係市町と保健所、医師会、消防組合、介護サービス事業者などの関係機関・団体が構成する北空知地域医療介護確保推進協議会を設置した。そして、協議会の事務局(広域連携)の拠点機能を持つ北空知地域医療介護連携支援センターを、地域唯一の中核病院である深川市立病院内に設置。同協議会が1市4町から、「在宅医療・介護連携推進事業」と「地域リハビリテーション活動支援事業」を受託する形で、地域における連携の取り組みが始まった。

協議会には、医療・介護情報共有支援、退院調整、在宅生活支援、多職種連携、地域啓発の3部会を設置。これまでに、介護事業所や医療機関、見守り、生活支援サービスなどの社会資源把握とホームページへの掲載、認知症初期集中支援事業の広域実施体制構築、住民パンフレット「住み慣れたまちで安心して暮らすために」の作成・配布、医療・介護関係者の多数回に及ぶ研修、入退院の際に必要な情報の共通ルールづくり、持病・服薬などを記入する「救急あんしんカード」普及などの成果が上がっている。

北竜町で開かれた北空知地域住民フォーラム。大勢の町民らが在宅医療と介護の問題を考えた
二 令和元年10月



北空知地域医療介護連携支援センター



地域唯一の中核病院・深川市立病院(左)と同病院内にある

ワーク中心に研修を行ううち、自分たちでこんなこともできるんだ」という強みになっていきました」と変化を強調した。

「チーム北空知」で地域包括ケア構築

また、地域リハビリテーション活動支援事業は、リハ専門職が各市町の地域包括支援センターと連携し、高齢者の自立支援への取り組みや介護予防の強化などに関する事業をリハの視点で支援するもの。保健師やケアマネと一緒に訪問し、介護が必



グループに分かれ盛んな事例検討などが行われた多職種合同研修会



妹背牛町健康福祉課の河野和浩課長

退院調整・在宅生活支援部会長を務める河野和浩・妹背牛町健康福祉課長は「本来は各町が単独でやらなければならないこと。スタート時は連携して取り組むことへのイメージがつかめず、どこからどう進めていか戸惑いましたが、少しずつ形になってきました」と言う。

多職種が顔合わせ研修会で事例検討

成果として表れているものうち、認知症初期集中支援事業については、当初、医療職や介護職らで構成するチームの中心となる認知症サポート医が深川市に1人だけしかいなかったが、協議会からの働きかけもあり、新たに6人が養成研修を修了し、現在は7人が対応。各市町で担当した事例は昨年度から開かれてい

要な状態に陥らないよう、本人、家族と協議しながら、助言などを行っている。担当の赤松作業療法士は「ほ



地域で行われているリハビリテーション活動支援事業

かの職種の方と顔を合わせる機会も増え、連携しながら、本人のためになるサービス提供につながりつつあります」と話していた。

介護に関しては各町独自の取り組みもある。妹背牛町では、町民で作る「わかち愛劇団」が毎年、1時間半ほどもある本格的な介護劇を上演している。この11月には7回目となる「子どもにでもわかる介護劇・きみといつまでも」が町民会館で上演され

る事例共有検討会で報告されている。「妻に対し暴力的行為があるアルツハイマー型認知症の夫の家族支援」の事例では、妻に物を投げつけるなどの行為があった家庭に医師、ケアマネ、訪問看護師らが関わったことで家の中が落ち着いた。地域リハビリテーション担当として関わった赤松充敏作業療法士(深川市立病院)は「夫の好きな手作業ができるサービス」を提案し、今ではそこへ1日も休まずに楽しく通っています」と語る。

11月18日に開かれた入退院支援研修会では、いわゆる「8050問題」をテーマに、70代後半の女性(要支援2)と50歳の息子の2人暮らし世帯の5年後を想像し、グループワークでさまざまな意見を出しながら支援策を考えた。また、9月に開かれた多職種合同研修会「第2回ケア・カフェきたそらち」では、「お口の話



桑原薫さん



入退院支援について情報・意見交換などが行われた研修会

をテーマに、オーラルフレイルと予防について知識を深め、ケア・カフェ方式によるグループワークを行った。

これらの研修には毎回100人前後の参加があり、意見交換も活発。研修会で交わされた議論や感想は、協議会のホームページに写真とともに掲載され、その後の活動に活かされる。「協議会発足以前にも研修会は開いていましたが、講演などを聴いても、「この地域にはないものなのでできない」というマイナス発言が多かったのですが…」と話すのは、多職種連携・地域啓発部会副部会長の桑原薫さん(秩父別町、指定居宅介護支援事業所幸福会管理者・ケアマネジャー)。「多職種でグループ

た。認知症の高齢の夫と妻を軸に、家族のやり取りをリアルに、時にはユーモアを交えて描いた作品。会場には300人の観客が詰めかけた。

平成29年に深川市で開かれた協議会の住民フォーラムには、初の町外公演として介護劇が上演され、感動を持って迎えられた。河野健康福祉課長は「上演は町の一大イベントになっています。地域の多くの住民に在宅医療・介護を身近に感じ、考える一助になってほしい」と話していた。

協議会が発足して4年。これまで、新しい資源を作るといふより、今ある資源を維持・確保し、それをどう磨いていくかを最大の課題として取り組み



赤松充敏さん

を進めてきた。三ツ井事務局長は「北空知の地域医療・介護の関係者が『チーム北空知』になって、地域包括ケアシステムを構築したい。関係者が顔の見える関係を築き、大いに議論し、医療・介護サービスを持続的に提供できる地域づくりに取り組んで行くことができれば…」と話していた。

(写真の一部は北空知地域医療介護確保推進協議会から提供を受けました)



妹背牛町の町民劇団による介護劇の一場面(令和元年11月)